

## 2024年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2023年8月4日

上場会社名 横浜丸魚株式会社

上場取引所 東

コード番号 8045 URL https://www.yokohama-maruu.co.jp

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 小島 雅裕

問合せ先責任者 (役職名) 取締役執行役員管理統括部長 (氏名) 佐藤 彰

TEL 045-459-2921

四半期報告書提出予定日 2023年8月10日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

## 1. 2024年3月期第1四半期の連結業績(2023年4月1日～2023年6月30日)

## (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期第1四半期	9,136	1.0	37	—	188	20.2	112	△10.5
2023年3月期第1四半期	9,042	11.1	△46	—	156	808.2	125	903.0

(注) 包括利益 2024年3月期第1四半期 878百万円 (262.6%) 2023年3月期第1四半期 242百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年3月期第1四半期	17.67	—
2023年3月期第1四半期	19.74	—

## (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2024年3月期第1四半期	20,096	13,587	67.4
2023年3月期	19,112	12,848	67.1

(参考) 自己資本 2024年3月期第1四半期 13,553百万円 2023年3月期 12,824百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年3月期	—	—	—	22.00	22.00
2024年3月期	—	—	—	—	—
2024年3月期(予想)	—	—	—	22.00	22.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

## 3. 2024年3月期の連結業績予想(2023年4月1日～2024年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	40,600	△0.2	150	22.0	420	△6.8	340	△10.0	53.40

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 — 社 (社名) 、 除外 — 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
  - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
  - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
  - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2024年3月期1Q	7,261,706 株	2023年3月期	7,261,706 株
② 期末自己株式数	2024年3月期1Q	894,844 株	2023年3月期	894,844 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2024年3月期1Q	6,366,862 株	2023年3月期1Q	6,366,941 株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	3
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 四半期連結損益計算書 第1四半期連結累計期間 .....	5
四半期連結包括利益計算書 第1四半期連結累計期間 .....	5
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	6
(継続企業の前提に関する注記) .....	6
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	6
(当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動) .....	6
(会計方針の変更) .....	6
(追加情報) .....	6
(セグメント情報等) .....	6
(収益認識関係) .....	7

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の感染症法上の位置付けが5類感染症に移行したことや、インバウンド需要の回復が継続したことで、景気は緩やかな持ち直し基調となりました。一方で、ロシアのウクライナ侵攻の長期化によるエネルギー価格の高騰、欧米との金利差拡大を背景とした円安により物価は上昇しており、経済の下振れリスクに警戒すべき状況が続いております。

当社グループの中核事業であります水産物卸売事業におきましては、感染拡大以前の日常へ戻りつつある中、観光地への賑わいが戻り、外食需要が回復したことで業務筋向けの商材は堅調に推移いたしました。しかしながら、地球温暖化に伴う海水温上昇等に起因する漁獲量の減少や、原料等の高騰による水産加工品の相次ぐ値上げなど、引き続き厳しい経営環境が続いております。

このような状況の下、当社グループは、2023年度から2025年度までを対象期間とした『横浜丸魚グループ中期経営計画 2023 ～Rebirth～』を策定し、豊かな食生活に貢献するという社会的使命を果たすとともに、経営課題を踏まえた4つの施策と3年後の目標達成に向けスタートいたしました。

その結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は9,136百万円と前第1四半期連結累計期間に比べ93百万円(1.0%)の増収となり、営業利益は37百万円と前第1四半期連結累計期間に比べ83百万円(前年同期 営業損失46百万円)の回復に、経常利益は188百万円と前第1四半期連結累計期間に比べ31百万円(20.2%)の増益となりました。しかしながら、事業用資産の用途変更を予定していることに伴い、除却を予定している資産について、帳簿価額を回収可能価額まで減額し、当該減少額31百万円を減損損失として特別損失に計上した結果、親会社株主に帰属する四半期純利益は112百万円と前第1四半期連結累計期間に比べ13百万円(△10.5%)の減益となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

#### (水産物卸売事業)

売上高は7,033百万円と前第1四半期連結累計期間に比べ77百万円(1.1%)の増収となり、営業利益も1百万円と前第1四半期連結累計期間に比べ66百万円(前年同期 営業損失65百万円)の回復となりました。

#### (水産物販売事業)

売上高は1,985百万円と前第1四半期連結累計期間に比べ1百万円(0.1%)の増収となり、営業利益も0百万円と前第1四半期連結累計期間に比べ8百万円(前年同期 営業損失7百万円)の回復となりました。

#### (不動産等賃貸事業)

売上高は40百万円と前第1四半期連結累計期間に比べ5百万円(15.8%)の増収となり、営業利益も27百万円と前第1四半期連結累計期間に比べ2百万円(9.5%)の増益となりました。

#### (運送事業)

売上高は76百万円と前第1四半期連結累計期間に比べ8百万円(12.3%)の増収となり、営業利益も7百万円と前第1四半期連結累計期間に比べ4百万円(135.4%)の増益となりました。

### (2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末における総資産は、20,096百万円と前連結会計年度末に比べ984百万円増加しました。この主な要因は、現金及び預金の増加232百万円、受取手形及び売掛金の減少89百万円、商品及び製品の減少164百万円、時価評価等による投資有価証券の増加1,068百万円によるものであります。

負債は、6,509百万円と前連結会計年度末に比べ245百万円増加しました。この主な要因は、長期借入金(1年内返済予定含む)の減少102百万円、投資有価証券の時価評価に伴う繰延税金負債の増加333百万円によるものであります。

純資産は、13,587百万円と前連結会計年度末に比べ738百万円増加しました。この主な要因は、投資有価証券の時価評価に伴うその他有価証券評価差額金の増加756百万円によるものであります。

### (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、2023年5月12日に公表いたしました数値から変更はございません。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2023年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	1,834	2,067
受取手形及び売掛金	3,627	3,538
商品及び製品	1,814	1,650
その他	51	57
貸倒引当金	△504	△526
流動資産合計	6,824	6,788
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	1,759	1,718
土地	2,166	2,166
リース資産(純額)	185	173
その他(純額)	50	50
有形固定資産合計	4,162	4,109
無形固定資産		
ソフトウェア	83	72
リース資産	45	43
その他	10	10
無形固定資産合計	139	126
投資その他の資産		
投資有価証券	7,910	8,979
長期貸付金	9	9
破産更生債権等	279	279
その他	54	73
貸倒引当金	△268	△268
投資その他の資産合計	7,985	9,072
固定資産合計	12,287	13,308
資産合計	19,112	20,096

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2023年6月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,477	2,624
短期借入金	300	300
1年内返済予定の長期借入金	364	319
未払法人税等	42	21
引当金	51	9
その他	474	436
流動負債合計	3,711	3,712
固定負債		
長期借入金	116	59
退職給付に係る負債	424	405
資産除去債務	26	26
繰延税金負債	1,552	1,886
その他	432	419
固定負債合計	2,552	2,797
負債合計	6,263	6,509
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,541	1,541
資本剰余金	402	402
利益剰余金	8,133	8,105
自己株式	△800	△800
株主資本合計	9,277	9,249
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	3,547	4,303
その他の包括利益累計額合計	3,547	4,303
非支配株主持分	23	34
純資産合計	12,848	13,587
負債純資産合計	19,112	20,096

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 (四半期連結損益計算書)  
 (第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)
売上高	9,042	9,136
売上原価	8,347	8,366
売上総利益	695	769
販売費及び一般管理費	741	732
営業利益又は営業損失(△)	△46	37
営業外収益		
受取利息	0	0
受取配当金	151	151
補助金収入	47	—
その他	3	1
営業外収益合計	203	152
営業外費用		
支払利息	1	1
その他	0	0
営業外費用合計	1	1
経常利益	156	188
特別利益		
固定資産売却益	—	0
特別利益合計	—	0
特別損失		
固定資産除却損	—	0
減損損失	—	31
役員退職慰労金	8	—
特別損失合計	8	31
税金等調整前四半期純利益	148	156
法人税、住民税及び事業税	24	34
法人税等調整額	△2	0
法人税等合計	22	34
四半期純利益	125	122
非支配株主に帰属する四半期純利益	0	10
親会社株主に帰属する四半期純利益	125	112

(四半期連結包括利益計算書)  
 (第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)
四半期純利益	125	122
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	116	756
その他の包括利益合計	116	756
四半期包括利益	242	878
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	242	868
非支配株主に係る四半期包括利益	0	10

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

該当事項はありません。

(追加情報)

(新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響に関する会計上の見積りについて)

現時点の新型コロナウイルス感染症（以下、「同感染症」という。）に関する入手可能な情報を踏まえて、前連結会計年度末に行った会計上の見積りの前提となる仮定に重要な変更を行っておりません。

なお、現在入手可能な情報に基づいて会計上の見積り及び判断を行っておりますが、見積りに用いた仮定の不確実性は高く、同感染症による経済活動への影響が変化した場合には、当社グループの財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローに影響を与える可能性があります。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間（自2022年4月1日 至2022年6月30日）

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位：百万円)

	報告セグメント					調整額 (注1)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注2)
	水産物 卸売事業	水産物 販売事業	不動産等 賃貸事業	運送事業	計		
売上高							
鮮魚	2,106	—	—	—	2,106	—	2,106
冷凍	2,397	—	—	—	2,397	—	2,397
塩干加工他	2,451	—	—	—	2,451	—	2,451
水産物一般	—	1,984	—	—	1,984	—	1,984
運送	—	—	—	68	68	—	68
顧客との契約から生じる収益	6,956	1,984	—	68	9,008	—	9,008
その他の収益	—	—	34	—	34	—	34
外部顧客への売上高	6,956	1,984	34	68	9,042	—	9,042
セグメント間の内部売上高又は振替高	664	38	7	24	734	△734	—
計	7,620	2,022	42	92	9,777	△734	9,042
セグメント利益又は損失(△)	△65	△7	25	3	△45	△1	△46

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額△1百万円は、棚卸資産の未実現利益△1百万円及びセグメント間取引消去0百万円であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。



Ⅱ 当第1四半期連結累計期間（自2023年4月1日 至2023年6月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位：百万円)

	報告セグメント					調整額 (注1)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注2)
	水産物 卸売事業	水産物 販売事業	不動産等 賃貸事業	運送事業	計		
売上高							
鮮魚	1,925	—	—	—	1,925	—	1,925
冷凍	2,395	—	—	—	2,395	—	2,395
塩干加工他	2,712	—	—	—	2,712	—	2,712
水産物一般	—	1,985	—	—	1,985	—	1,985
運送	—	—	—	76	76	—	76
顧客との契約から生じる収益	7,033	1,985	—	76	9,096	—	9,096
その他の収益	—	—	40	—	40	—	40
外部顧客への売上高	7,033	1,985	40	76	9,136	—	9,136
セグメント間の内部売上高又は振替高	596	29	8	24	659	△659	—
計	7,630	2,014	49	101	9,795	△659	9,136
セグメント利益	1	0	27	7	36	0	37

(注) 1. セグメント利益の調整額0百万円は、棚卸資産の未実現利益0百万円であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「不動産等賃貸事業」セグメントにおいて、用途変更の意思決定に伴い除却を予定している資産について、帳簿価額を回収可能価額まで減額し、当該減少額31百万円を減損損失として特別損失に計上しております。

(収益認識関係)

顧客との契約から生じる収益を分解した情報は、(セグメント情報等)に記載のとおりであります。